



第10回「産業振興フォーラム」開催

去る2月20日、表参道新潟館ネスパスにおいて第10回産業振興フォーラムが開催された。78名という多くの方々の参加を頂いた近來にない盛会であった。

今回は旧畑野町出身で、東映(株)取締役相談役・石川芳彰氏を迎え、「映画産業の今昔」という内容でお話を頂いた。

東映が、旧満鉄をルーツに持つ映画会社であること。女優・李香蘭を起用した数々のヒット作、市川右太衛門、片岡千恵蔵、月形龍之助などのスタアによる時代劇ブームなど映画の黄金時代を始め、その後のTVの台頭による映画の斜陽化とTV番組やビデオ制作、不動産事業、貿易会社、ゴルフ場経営など事業の多角化に至るお話を頂いた。また、石川氏自身が主導した“エジプト文明展”を始めとする国際文化事業や、イベントはまさに、波瀾万丈の石川氏の人生と同調するような、まさにドラマのようなエキサイティングなものであった。

今回のフォーラムには、佐渡市より、甲斐副市長が参加され、人口減対策はもちろん、将来に対する投資ということで新潟大学、東京農業大学との連携、学部の佐渡への誘致のお話や、世界遺産登録、ジオパークの申請に向けての活動など、市の取り組みをご紹介いただいた。また、観光商工課の丹下課長補佐から「佐渡観光の現状等について」ということで、さまざまな活動の紹介を受けた。質疑応答も活発で、素晴らしいフォーラムとなったことをご報告したい。

(文責：佐渡市東京事務所 小路 徹)



講演する石川芳彰氏



聴衆で埋まる会場



おけさ華の乱

期日 4月16日(土)、17日(日)

会場 佐渡金山第三駐車場(相川地区)

(入場無料)

今回は、夜だけのイベントです。両日、午後8時から午後9時の予定で、佐渡の郷土芸などを披露します。露店の出店もあります。

(雨天時=あいかわ開発総合センター)

☆桜並木のライトアップ 4月16日~24日

時間 午後7時~午後9時30分

場所 佐渡金山第三駐車場周辺

16日(土) 午後7時に点灯式を行います。

ぜひ、皆さまお誘いの上、おこしください。

お問い合わせ

おけさ華の乱実行委員会 ☎74-2220

随想

ゆや夢飛行

No.53

佐渡市長 高野宏一郎

3月11日の議会の一般質問が終わりに近づいたころ、突然めまいにも似た大きな揺れで、瞬間皆が顔をあげて周りを見回しました。誰かの大声での「議場の耐震工事は？」の問いに「まだです！」と係が答え、多くの議員は中腰になりました。しばらくして携帯からたたき事ではない地震の知らせが飛び込んできました。

これでもかと地獄絵図を映すテレビ、鳴り響く緊急地震速報、燃え盛る家屋を浮かべたまま逃げ惑う人々を容赦なく飲み込んでいった黒い津波、夢かこの世の地獄かと見入る映像が次に報じたのは、あつてはならない原発の事故でした。

地震と直後の大津波、原発事故が最悪の局面を迎える、そんなことが日本で起こるとはだれも予想しませんでした。2万6000人以上(3月24日午後6時現在)にもなる犠牲者・行方不明者は阪神大震災をはるかに上回り、被害総額でも史上最悪です。佐渡市も被災者のために、「東北地方太平洋沖地震被災者等支援本部」を早速立ち上げました。募金と同時に、空き家や施設の総点検を行って、最大限の被災者引受け可能数を新潟県へ申し出て、佐渡汽船の運賃とともに、旅館民宿への1か月間の無料滞在も提案しています。早速被災者が続々来島されていますが、島の癒しの中で一刻もはやく落ち着きを取り戻してほしいものです。

この間、選抜野球大会の開催が不安視されていました。被災地の東北高校が一人も欠けることなく出場できることから開催が決まり、3月23日には今までに比べて控えめながらも力強い開会式での佐渡高校の雄姿を見ることができました。この記事がお手元に届くころには、佐渡高校の対戦結果も出ていますが、高校健児たちの活躍が被災地を励まし、勇気を与えるためにも開催を皆で喜び合いました。

